

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。
 具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

様式15（長寿命）

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

要件への適合確認書（実績）【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主（売買契約による場合は買主）

建築主氏名 ☒ 田 ☒ 郎、☒ 田 ☒ 子

！ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「，」で区切ってください。
 売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

・採択された要件の確認（1）～【地域材】

使用した地域材	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	〇〇県産材	〇〇県	〇〇県産材認証制度
	合法木材	国内・海外	合法木材証明制度

※採択された地域材のうち、対象住宅で使用した地域材を記入してください。

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式2-1 A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

！ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用したものを記入してください。※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

採択された要件の確認（2）～【グループの共通ルール】

地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み	共通ルール
①地域材ごとの使用部位（必須）	〇〇県産材、△△県産材及び合法木材証明制度を、主要構造材（柱・梁・桁・土台）に使用する。
②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	〇〇県産材、△△県産材を、主要な構造材の70%程度使用する。
地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材（柱・梁・桁・土台）の過半にグループ指定の地域材を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する。

適用申請書様式3-1～3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。
 記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載、等の間違いが多いので注意してください。

対象住宅に関わった方が受講した省エネ講習会の名称を記入（選択）してください。
 (2)を選択する場合は、(1)の講習会と同等である必要がありますのでご注意ください。

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「〇」を記入してください。

・グループ事務局の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件（共通ルール）に適合していることを確認いたしました。

グループ事務局担当者名	確認欄	申請事業者代表者名	確認欄
優良 二郎	〇	長持 住夫	〇

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「〇」を記入して下さい。

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

対象住宅に関わるものが受講した講習会の名称（次のいずれかに「〇」） ※2 (2)の場合は講習会の名称を記載
〇 (1) 住宅省エネルギー技術講習会（施工技術者講習会、設計者講習会）
(2) 上記と同等の講習会※1 講習会の名称※2

(2)を選択した場合は、講習会の名称を記入してください。

対象住宅に関わる講習会の修了者の区分（次のいずれかに「〇」）

〇 (1) 対象住宅の施工者	(2) 対象住宅の設計者	(3) 対象住宅の工事監理者
対象住宅に関わる講習会の修了者の氏名・受講者番号 ※3 受講者番号がない場合は、当該講習会を修了したことが		
氏名 〇山 〇介	受講者番号※3 013-13-C-99**	

修了証の提出は不要です。

省エネ講習会の修了者が対象住宅に関わった区分に〇を付けてください。

※1 交付申請時から変更があり、同等の講習会かどうか不明な場合はお問合せください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 【H27】住宅 地域型住宅グリーン化事業 採択要件への適合確認書（実績）

関わった方の氏名を記入。

使用する様式は正しいですか。
 【H27】住宅と記載されている様式を使用してください。